

小松市立中学校2年生の皆様へ

めでたく「立志」を迎えられました皆さんに心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。

さて、今日、「科学技術の急速な進化」や「グローバル化」により、世の中の変化がますます加速しています。また、新型コロナウイルス感染症は私たちの生活に深刻な影響を与えています。専門家によると今後もこのような“VUCA”と言われるようなこれまでの常識を覆すような社会変化が次々と起こる時代がやってくるということです。

これからの社会を、不安に思う人がいるかもしれませんが、私は決してそうではないと思います。例えば新型コロナウイルスに対しても、世界中の人たちが力を合わせ、協力し危機を乗り越えようとしています。その他の分野においても、今、現実に取り組んでいる宇宙エレベータを利用した宇宙旅行や全ての病気が治る技術など、現在よりも、きっと、豊かで楽しい未来になっていくと思います。

そのような観点から、皆さんの「立志」にあたり、三つお話ししたいと思います。

まず、一つ目は、世のため人のために役立つような志を持って未来に進んでほしいということです。

「立志」の意味として、広辞苑には「目的を定めて、これを成し遂げようと気持を固めること」とあります。また、「志す」ということは世のため、人のために尽くすという意味を含んでいます。

ここ数年、デジタル技術の急速な進化により、世の中の変化がますます加速しています。その一方、世界中でサステナビリティ（持続可能性）ということが重視されています。つまり、個人の幸せと社会全体の幸福の両立を実現するために、一人一人が社会のために何をすべきか考え、実行することが求められています。

社会とのかかわりの中で、自分がどう考え、何をしていくのかという意味を大事にしてください。

二つ目は、思いやりの心を持って生きてほしいということです。

コロナ禍で私たちは思いやり、助け合うことの大切さを改めて確認することができました。人は自分の弱さを克服して強く生きていこうとする時、他の人もまた同じように生きていることに気づきます。他人に対する思いやりの心が生まれてくるのはこの時ではないかと思います。互いに思いやる心を持つことによって、温かい結びつきが生まれ、素晴らしい友情が育まれます。友達を助け、友達の助けを借りながら互いの目標を達成してほしいと思います。

三つ目は、いろんなことを体験し、新しい気づきを持ってほしいということです。

皆さんが家庭での時間を除いて活動している場所はどこでしょうか。大部分が学校ではないかと思います。

「学校での勉強という与えられる学び」はもちろん大事ですが、私は、学校で学んでいることが実際に使われている、学校の外での体験も重要だと思います。いろんな経験を通して、様々な考えを持つ人たちの話を聞き、自分の考えを伝える場面を大事にしてほしいと思います。多様性が重視されています。多様性とは、様々な考えを持つ人々と協力しながら様々な課題を解決していくことです。そのような観点から、外と触れ合うことを通して、自分を知り、多様性を広げることに努めてください。

最後に、皆さんに「相田みつを」さんの言葉を贈ります。

「雨の日には 雨の中を 風の日には 風の中を」この言葉は、雨の日には雨に打たれ、風の日には風に流されるという、自然に逆らわず流れにのって生きようという事ではありません。雨の日には、全身ずぶぬれになって、雨の中を歩いていく。風の日には、体全体で風を受け止めて、風のど真ん中を歩いていく。障害や試練に対し立ち向かい、自分の信念を貫きとおし、目的に向かって確実に歩み続けてほしいと願う言葉です。

皆様の限りない未来を祝福し、今日のおよき日を心からお祝い致しましてご挨拶いたします。本日は誠にありがとうございます。

令和4年2月吉日

小松市教育長
石黒 和彦

- * VUCA:「Volatility(ボラティリティ:変動性)」
- 「Uncertainty(アンサートウンティ:不確実性)」
- 「Complexity(コムプレクシティ:複雑性)」
- 「Ambiguity(アムビギュイティ:曖昧性)」